



発行所 名寄市徳田204番地1
 北海道名寄高等学校同窓会
 事務局 TEL 01654-3-6842
 FAX 01654-3-6841
 発行人 会長 梅野 博
 (名高16期)
 印刷所 (株)北方印刷所

統合に向けて

校名「北海道名寄高等学校」に決定し、2023年4月、現在の名寄高校と名寄産業高校が統合し新設校として新たな一歩を踏み出します。今年8月に北海道教育委員会より、新設校の名称が「名寄高校」に決定しましたと正式に連絡がありました。

校舎は、名寄市徳田にある現在の名寄高校の校舎を増改築し、令和6年度に完成する予定です。現在のところ新設校では、普通科4クラス160名、情報技術科1クラス40名、計200名を募集する予定です。現在、旭川以北の地域では1学年5クラスの学校はほとんどなく、大人数で学べることから、学校全体が活気に溢れ、部活動等も充実することが期待されています。

単位制

新設校は「単位制高校」となります。単位制とは簡潔に言うと、大学のように自分の興味関心に合わせた科目選択がしやすいシステムのことです。例えば、これまで2年生は2年生の授業、3年生は3年生の授業というように、学年ごとに区切られていました。単位制では学年に関係なく、自分の受講したい授業を

選択できるようになります。したがって、異なる学年の生徒が同じ授業で学ぶということも可能になります。1年次は必修授業が中心となりますが、2年次、3年次と進むに従い、多くの部分が選択科目になっていきます。幅広い科目から自分の進路希望等に合わせ、学びを自分自身でデザインできるようにします。

情報技術科単位制

普通科の他に新しい学科として「情報技術科」が設置されます。この「情報技術科」は工業科の中に含まれる学科で、いわゆる商業科の中にある「情報処理科」とは異なります。商業科の「情報処理科」は、ワードやエクセルなどを用いて、パソコンを使いこなすことを目的にしていますが、この「情報技術科」は、最先端技術を用いた「ものづくり」やプログラミングを行います。プログラミングを用いてドローンを飛ばしたり、最新のレーザー加工機を駆使し、「あったらいいな」というものを自分自身で形にすることを想定しています。

制服

制服も新しくなります。在校生や名寄市内の中学生からの多くの意見を参考に、デザインが決まりました。男女共に

ブレザー、スラックスまたはスカートがベースとなります。略装に関しては、ポロシャツ、ハーフパンツ、セーターなどを組み合わせて、自分で寒暖差に対応できるようにシステムにする予定です。デザイン性、機能性にも優れた新しい制服は、生徒の学校生活をより豊かにしてくれることと思います。



部活動等

統合により生徒数が増加すれば、部活動もたくさんの人数で切磋琢磨できる環境が整うこととなります。現在の名寄高校は、吹奏楽部の2020年度日本管楽合奏コンテストの全国大会で最優秀賞、スキー部の全国大会出場、新聞局の20年以上連続全国大会出場をはじめ、女子バドミントン部が昨年11年ぶりの地区団体優勝、今年度は女子ソフトテニス部の1年生ペアが地区優勝、サッカー部が高体連で9年ぶりの地区優勝など、部活動が非常に盛んです。また部活動の一環で様々なボランティアや地域の方と触れ合う機会も多く、生徒が人として大きく成長することに寄与しています。

その他にも、学校の部活動ではありま

せんが、プロスノーボーダーとして活躍する生徒、エアリアルの日本選手権で優勝した生徒、そしてカーリングのジュニア世界選手権で優勝した生徒もいます。新設校でもこうした伝統は受け継ぎ、更に発展し続ける学校づくりを目指します。

これから起こる社会の変化について、その内容も、そのスピードも、誰にも予想することはできません。

これからの高校生に求められるのは、予測不可能なことに対して、自分なりに方法を考え、自分なりにトライすることでしょう。2023年度は新設校にとつてまさに「時代を創る1期生」を迎えることとなります。これまでの良き伝統を受け継ぎながら、来年度の新入生と共に新しい高校を共に創り上げ、活気溢れる高校として出発します。



大学見学バスツアー

8月1日、2日の日程で大学見学バスツアーが実施されました。今年度は2年生が19名、1年生が1名の合計20名の生徒が参加し、駿台予備校札幌校、北海道大学、北海道大学を見学しました。参加した生徒の中には、志望する大学が決まっている者、志望する大学は決まっているが、学びたい分野が決まっている者、志望先、分野は決まっていないが、進学を志している者など様々です。

まず、駿台予備校では近年の大学入試の傾向や志願者数、スケジュールなど、豊富なデータを用いて説明してくれました。生徒にとっては詳しい入試のデータを見る貴重な機会となりました。また「現役合格のために」というお話もしていただきました。その中で「合格を勝ち取る者は高校2年生の夏休みから受験勉強を始めている」という部分が強印象に残ったようでした。参加している今が、まさに高校2年生の夏休みであることを改めて自覚し、勉強しなければならぬという気持ちがいよいよ強くなったと話す生徒が多かったです。

北海道大学では、職員の方から大学の概要、学ぶことができる分野、大学の仕組み等を詳しく説明していただきました。模擬講義では、経済学部地域経済学科の宮入隆教授に農業経済学について教えていただきました。宮入教授の調査研究は、名寄にもフィールドワークに来て

いたことがあり、名寄の特産品がもち米になった理由やJ道北なよる農業協同組合の変遷を説明していただきました。生徒の中には両親が農業経営をしている家庭もあり、身近にある農業が大学では経済という視点で研究されていることに驚きと学問としての面白さを感じたようでした。

2日目は北海道大学の敷地内の散策や先輩の話、研究室訪問を行いました。敷地内散策ではそれぞれの学部棟を見たり、札幌農学校であったときの施設を見たりと北海道大学の広さを感じていました。先輩の話では、3年前に名高を卒業した平間さんが授業の内容や学生生活について、高校生の時にどのように勉強に励んでいたのかなどを、質問を交えながら話してくれました。研究室訪問では、名寄高校を卒業して北海道大学工学部の教授として研究していらっしゃる工藤峰一教授にご協力をいただき、大学院に通っている学生の研究を見たり、どうして今の研究テーマにしたのか、どのように研究を進めているのかなどを説明していただきました。研究室では6年前に名寄高校を卒業した杉之下さん、高橋さんが自身の研究について話してくれ、大変貴重な時間となりました。

参加する生徒の目的はそれぞれ違いますが、大学にはどのような施設があつて、どのような講義が行われ、どのような研究をしているのかが理解できる機会となりました。高校生活の大きな目標である進路実現のために、この経験が少しでも

役立つものであればと思つています。今回、このバスツアーを行うにあたり、名高の卒業生にご協力いただいたり、同窓会からも補助金をいただいたりと卒業後も在校生のために多くのお力添えがあること、非常に嬉しく思います。

【参加した生徒の感想】

若井佑斗(第76期2年A組)

大学見学バスツアーでは北海道大学、駿台予備校、北海道大学を見学させて頂きました。私がこのツアーに参加したのは、大学の雰囲気を知りたい、予備校での講演を聞いて受験勉強に役立てようと思つたからです。

行きたい大学は大体決まっていたのですが、他の大学も知ることでも役に立つことがあるのではないかと考えました。北海道大学では模擬講義を受講することが出来ました。内容は北海道の地域経済についてのことでしたが、資料を用いて色々な視点から考察していく大学の授業はとても面白く興味が湧きました。また、大学構内には巨大な図書館があり、気になったことなどはすぐに調べることが出来るなど、とてもよい環境だと感じました。

予備校では大学入試の仕組み、必要な勉強量、勉強の仕方などを丁寧に説明していただき、とても有意義な時間となりました。また、大学入試に対する意識が大きく変わり、勉強のモチベーションにもなりました。将来へのビジョン

が見えた反面、自分はまだまだ勉強量が足りないと感じたのもっと頑張ろうと思いました。北海道大学では大学構内を自由に見学することが出来ました。構内はとても広く、たくさん建物があり、驚きました。また自然が非常に多く、緑に溢れていました。このたくさん自然は研究に使われているそうです。

また大学生それぞれが自分のテーマをもって研究しており、その成果の一部を博物館で見ることが出来ました。面白い研究テーマが沢山あり、とても興味を湧かしました。

実際に研究室に訪問した際には大学生から研究について説明していただく機会がありました。私には到底思いつかないような研究テーマであり、これが成功すると社会に影響を与えるようなものもあり、面白かったです。北海道大学と北海道大学の二つを見ただけでも、パンフレットやインターネットの情報からは伝わってこない雰囲気や、特色を知ることが出来ました。今回の実際に大学に足を運ぶという経験は、大学について考えたり、受験勉強をする上で大事なことを知れたり、とてもよい機会になりました。

岡本一花(第76期2年B組)

私がこのバスツアーに参加したのは、大学はどんなところなのかを少しでも知

るためです。まだ進路が決まっていない私にとって、

大学を知ることとはとてもいい機会だと思いましたが。バスツアーでは駿台予備校、北海道大学、北海道大学にお邪魔しました。高校とは全く違った大学の雰囲気にとっても緊張しました。

自分の中で特に印象的だったのは北海道大学です。工学部を見学した時、研究する内容が思っていた以上に沢山あって具体的なだったので驚きました。DNAの研究、人の歩き方の研究や菌の研究などすごく様々でした。週に1回程、論文的なものを作って提出する話を聞きました。論文は、研究を重ねて、その結果から考察してまとめるものだと思うのですが、その論文を作るのにも夜遅くまで学校に残って一苦労だそうです。名高の卒業生の話を聞いた時、高校時代は部活も入っているのにもかかわらず1日4時間は勉強して、暇な時間があれば数学を楽しんで勉強していたという話を聞いて、自分の勉強量ではまだまだ足りないのだと思いました。自分は今も努力できるとも感じました。大学がどんなところなのかイマイチ分からなかった私にとつてすごく刺激的な時間でした。

北海道大学の模擬講義を受けた時に、もち米などの話を聞きました。実際に名高などに調査しに来たりして研究を行うそうです。本当に内容が具体的に自分の学びたいことをしっかりと学ぶことができるのだなと思いました。

予備校では浪人生の1日のスケジュールを見た時に1日中勉強して、1年かけて大合格に備えて、努力しているのが伝わり、私自身も頑張ろうと思いました。

た。初めは行かなくてもいいかなと、考えていましたが、声をかけていただいたことをきっかけに行く決めて本当に良かったです。私の中で1歩前進出来ました。最後に大学生はかっこいいなと思いました。色んなことに熱心に研究して楽しんでる姿はとてがかっこよかったです。

夏期勉強会

令和4年7月16・17日の2日間、3年生の夏期勉強会が名寄市駅前交流プラザよろーなで行われました。

夏期学習会は、大きく①受験へ向けた気持ちの切り替えを図る。②集中力と、質の高い自学自習の習慣を身に付ける。③仲間とともに進路実現を目指す意識を高める。の3つの目的で例年実施されています。

今年度も8時30分から18時まで、生徒たちは自ら立てた目標や学習計画を基に、真剣に学習に打ち込んでいました。また、1日目午前中には、講師を迎え公務員試験対策講座も開かれました。



JR名寄高校駅開業

令和4年3月12日、東風連駅が名寄高校のすぐ側に移設され、名称も名寄高校駅と改称されました。

この日、名寄市主催の名寄高校駅供用セレモニーが行われました。セレモニーには加藤剛士名寄市長、林実名寄駅長などの来賓をはじめ、本校からは鈴木究校長、田中羅良学友会長らが参加しました。

加藤市長は「開設は宗谷本線を活性化させたいと思い、高校前に駅を作ることで通学しやすくなるようにという二つの思いがある」と挨拶。その後、来賓によるテープカット、ホームに設置されたサインボードやメモリアルボードの除幕式が行われ、開業を祝いました。

新駅の愛称「Nステ」は、本校2年生の小室ひかりさんが考案しました。セレモニーの中で小室さんへの表彰が行われ、続いて本校吹奏楽部の記念演奏が披露されました。演奏中に列車が到着し、車内の乗客からも手

拍子が送られ、温かな雰囲気の中、セレモニーは幕を閉じました。



令和4年及び5年度 総会について

昨年度(令和3年度)の同窓会総会は、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、懇親会を行わず総会のみで開催となりました。令和3年10月8日(金)、名寄高校多目的教室にて令和2年度決算報告、令和2年度同窓会会計及び事業積立金決算報告、監査報告、令和2年度会務報告及び令和3年度行事年間計画、令和3年度同窓会会計予算審議について等を議事に沿って進めました。

今年度(令和4年度)につきましては、令和4年10月の創立100周年記念式典の際に総会、懇親会は創立100周年記念式典祝賀会に併せての実施となります。

同窓会報第56号の原稿募集

令和5年10月発行予定の同窓会報56号の原稿と広告を募集しています。会報の掲載内容は、同窓会各員や各支部地区役員、原稿、同窓生個人の原稿、旧職員の原稿、支部だより、同期会だより、同窓生の活躍状況などがあります。寄稿先は事務局(〒096-0071 名寄市字徳田204 名寄高校同窓会事務局 TEL01654-31684 1名寄高校 佐川)までご連絡ください。原稿は各自のパソコンで作られたものでも、手書きでもかまいません。写真は使用後に返却いたしません。

今後、同期会だよりや同窓生の活躍状況などを積極的に掲載させていただこうと考えておりますので、ご協力をよろしくお願いたします。

令和3年度卒業生 進路別合格者数(延べ数)

北海道名寄高等学校 進路指導部

区分	学校名	合格者数				区分	学校名	合格者数			
		男	女	過年度	合計			男	女	過年度	合計
国公立	小樽商科大学	1			1	看聴系	北海道立校別高等看護学院	1	1		2
	北海道教育大学札幌校	1			1		深川市立高等看護学院	2	2		4
	北海道教育大学旭川校		1		1		滝川市立高等看護学院	1	1		2
	北海道教育大学函館校		1		1		砂川市立病院附属看護専門学校				
	北見工業大学	2			2		市立函館病院高等看護学院				
	室蘭工業大学	2	1		3		富良野看護専門学校				
	名寄市立大学		4		4		旭川厚生看護専門学校	2	4		6
	釧路公立大学	3	1		4		駒沢看護専門学校		1		1
	公立千歳科学技術大学	3			3		苫小牧看護専門学校	1			1
	弘前大学	1			1		函館看護専門学校				
	徳島大学	1			1		函館看護リハビリテーション学院				
道内私	徳島県立大学	1			1	小計				16	
	小計						旭川福祉専門学校				
	道立	北海学園大学	6	3		9	経専医療事務兼業専門学校				
		北星学園大学	1			1	札幌スポーツ&メディカル専門学校	1	1		2
		札幌学院大学	3	1		4	札幌看護医療専門学校				
		札幌大学	7	1		8	札幌ビューティーアート専門学校	1	2		3
		札幌大谷大学	1			1	札幌ミュージック&ダンス放送専門学校		1		1
		星槎道都大学	2	2		4	北海道美容専門学校				
		日本医療大学	7			7	北海道理容美容専門学校				
		日本赤十字北海道看護大学	4			4	北海道ハイテクノロジー専門学校	2			2
		藤女子大学	3			3	専門学校札幌ビジュアルアート		1		1
北翔大学			0		0	北海道情報専門学校	1			1	
北海道医療大学		2	3		5	北海道農業協同組合学校JACレック	1			1	
北海道科学大学	2	4		6	北海道歯科衛生士専門学校						
北海道情報大学	1			1	北海道医学技術専門学校						
道立大	北海道千歳リハビリテーション大学		0		0	北都保健福祉専門学校					
	北海道文教大学	3	3		6	日本工学院北海道専門学校					
	酪農学園大学		0		0	専門学校札幌デザイナー学院					
	旭川大学	2	2		4	専門学校北海道福祉・保育大					
	小計						札幌リハビリテーション専門学校				
	道外私	青森中央学院大学		1		1	札幌ベルエポック美容専門学校				
		弘前学院大学		1		1	旭川大学情報ビジネス専門学校		1		1
		千葉工業大学	2			2	東京モード学園		1		1
		立正大学	1			1	文化服装学院		1		1
		国土館大学	1			1	小計				14
		工学院大学					北海道職業能力開発大学校				
名城大学		1			1	小計				0	
桜美林大学		1			1	国家公務員	2			2	
亜細亜大学						北海道行政職員	6			6	
小計						北海道警察	1		1		
国立短大		青森中央学院大学		1		1	旭川市職員消防	1			1
	弘前学院大学		1		1	名寄市職員	2	2		4	
	千葉工業大学	2			2	三笠市職員	1			1	
	立正大学	1			1	当麻町職員	1			1	
	国土館大学	1			1	比布町職員	1			1	
	工学院大学					和寒町職員	1			1	
	名城大学	1			1	剣淵町職員	1			1	
	桜美林大学	1			1	美深町職員	2	1		3	
	亜細亜大学					下川町職員	1	1		2	
	小計						自衛隊	4		4	
	私立短大	北星学園大学短期大学部		1		1	公務員	24	5		29
旭川大学短期大学部		1	2		3	北海道警察	1			1	
札幌大谷大学短期大学部			1		1	旭川市職員消防	1			1	
札幌大谷大学短期大学部			1		1	名寄市職員	2	2		4	
小計						三協精機工業株式会社		1	1		

※令和4年3月28日(月)判明分

後書

今年も同窓会報の発行にあたり、多くの方々のご協力を賜りました。今後、若い世代の同期会開催の報告や総会・懇親会への参加を願っております。多くのご協力、本当にありがとうございました。

